

(3) 県負担・補助率の考え方

地域の薬局がプライバシー及びバリアフリーに配慮した整備や高い無菌性を求められる輸液や注射薬などの無菌調剤に対応できる設備を整備することにより、薬局における機能強化を推進できることから、県負担は妥当である。

なお、補助金で整備された認定薬局は、補助事業者の資産（設備）となることから、経費の2分の1の負担を求める。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	10,000	無菌調剤設備の導入経費の補助
需用費、役務費	88	補助事業事務費（消耗品費、通信運搬費）
合計	10,088	

決定額の考え方

本補助金により地域認定薬局が増加することが明らかでないことから、計上を見送ります

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第7期岐阜県保健医療計画

かかりつけ薬剤師・薬局の推進及び在宅医療への薬局の参加促進

(2) 国・他県の状況

他県においても同様の事業を計画

(3) 後年度の財政負担

薬局の機能強化を推進していくため、今後も事業を実施していく必要がある。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 プライバシー及びバリアフリーに配慮した整備や高い無菌性を求められる輸液や注射薬などの無菌調剤に対応できる設備を支援し、薬局における在宅医療をはじめとしたかかりつけ機能及び高度薬学管理機能を推進する。

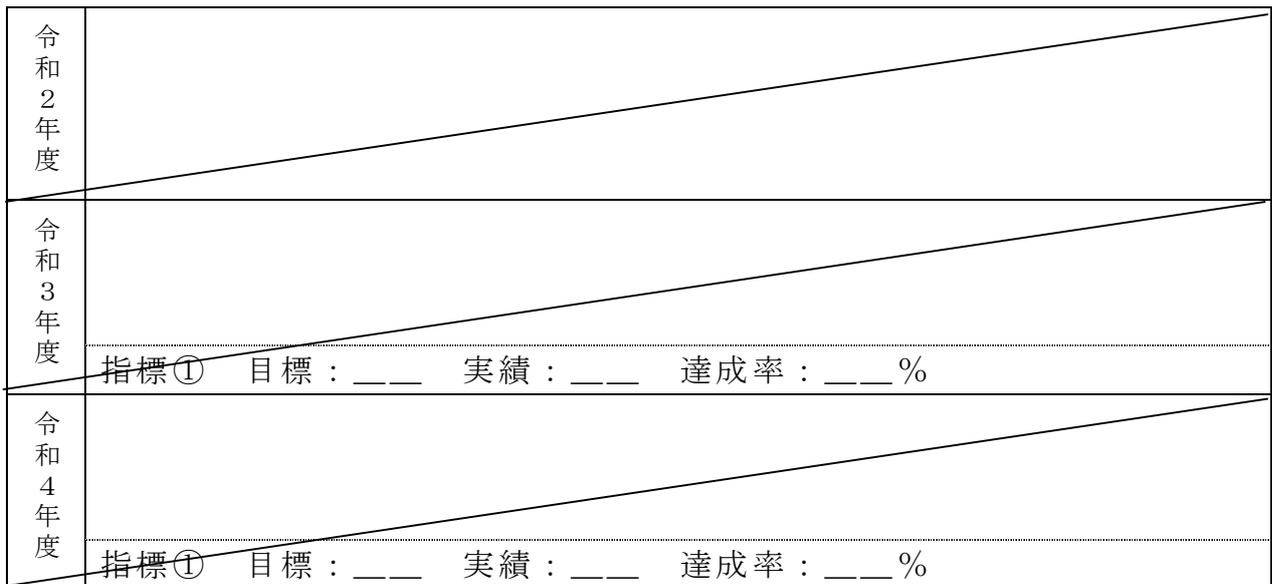
（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3.8)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
① 地域連携薬局数	5 薬局	-	18 薬局	36 薬局	176 薬局	2.8%
② 専門医療機関連携 薬局	0 薬局	-	2 薬局	3 薬局	7 薬局	0%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（これまでの取組内容と成果）



2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	<p>3</p> <p>認定薬局を整備することにより、在宅医療をはじめとしたかかりつけ機能又はがん等の専門的な薬学管理機能を有する薬局が増え、県内における医療サービスを増進できる。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>県内薬局のかかりつけ機能及び高度医療の対応を強化していくためには、認定薬局を整備する薬局開設者を支援していく必要がある</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>薬局における在宅医療を推進していくため、事業を継続する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	